J

スピーカー

NS-B750

取扱説明書

ご使用の前に必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

分解禁止

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置

水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。

必ず実行

スピーカーケーブルは必ず壁などに固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが落下や転倒し、故障やけがの原因となります。

使用上の注意

禁止

ポート（背面開口部）などに異物を入れたりしない。

火災や感電の原因になります。

禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

⚠ 注意

設置

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止

スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所には設置しない。
スピーカーが落下や転倒して、けがの原因になります。

注意

接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。

移動

プラグを抜く

移動をするときにはアンプの電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意

持ち運ぶときにはポート（背面開口部）や前面のネットに手をかけない。
ポートがはずれたり、ネットが破れたり、本機を落としたりして、けがの原因となることがあります。

使用上の注意

必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。

禁止

ポート（背面開口部）には手を入れない。
感電やけがの原因となることがあります。

禁止

本機に乗ったり、寄りかかったりしない。
転倒・落下したり破損したりして、けがの原因となることがあります。

手入れ

禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

目次

付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

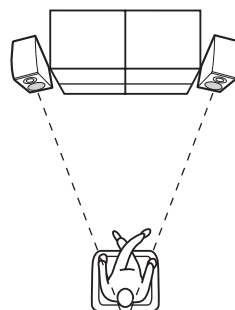
スピーカーケーブル（4m × 1 本）

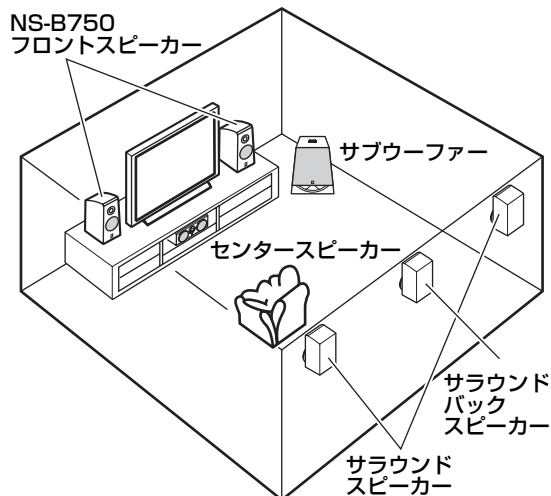
ご注意

フロントカバーはスピーカー本体から外れた状態で梱包されています。失くさないようにご注意ください。

スピーカーの設置

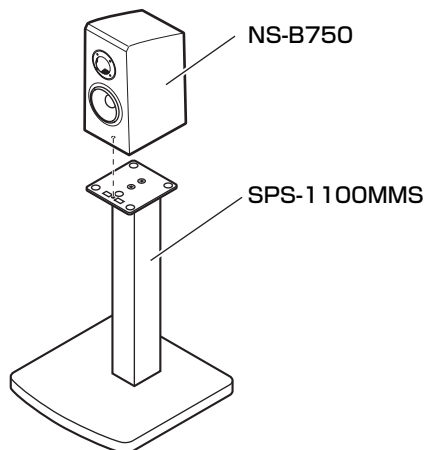
■ 2 チャンネルスピーカーシステムとして

図のようにリスニングポジションに対して少し内側に向け設置することにより、効果的なステレオ再生ができます。

■ ホームシアターシステムのフロントスピーカーとして

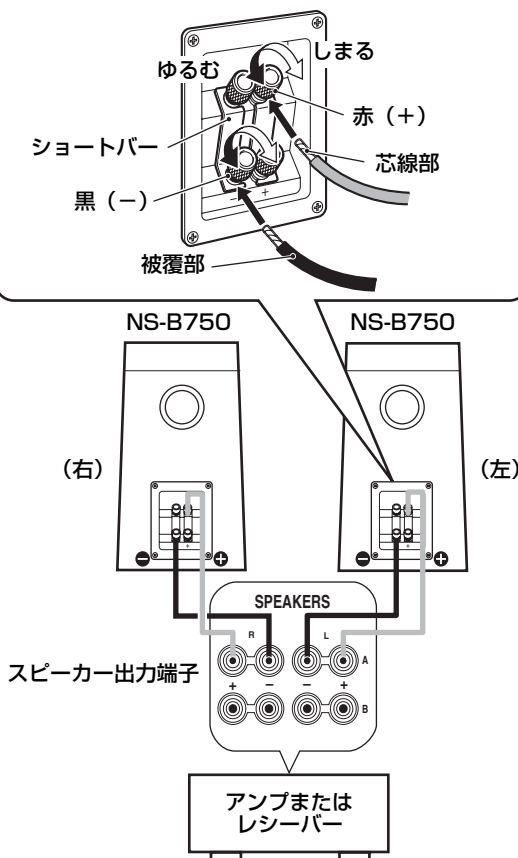
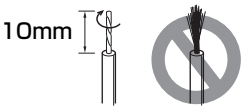
テレビの左右に設置します。スクリーンを設置している場合は、スクリーンの両脇に設置してください。

ご注意

- スピーカーケーブルを足や手に引っかけ本機を転倒させることのないように、ケーブルは必ず固定してください。
- 本機は非防磁設計です。ブラウン管テレビの近くに設置すると、色ムラや雑音などが生じる場合があります。そのときは、テレビとスピーカーの距離を 20cm 以上離して使用してください。

別売ヤマハスピーカースタンド
SPS-1100MMS
本機底面の穴（直径4mm、深さ10mm）を利用してSPS-1100MMSに取り付けると、フロアースタンドスピーカーとして使用できます。

● 取り付けの際は、SPS-1100MMS の取扱説明書もあわせて参照してください。

アンプとの接続

接続するときは、必ずアンプ、レシーバーなどの電源を切ってから行ってください。

通常の接続

■ 接続について

● スピーカー背面の入力端子とアンプ、レシーバーのスピーカー出力端子を付属のスピーカーケーブルで接続します。本機の赤端子はプラス（+）、黒端子はマイナス（−）です。
● 左スピーカーはアンプ、レシーバーの L（左）端子に、右スピーカーはアンプ、レシーバーの R（右）端子に接続します。それぞれ極性（+、−）を間違えると不自然な音になりますので、ご注意ください。
● 接続する際は、アンプ、レシーバーの取扱説明書もあわせて参照してください。

接続のしかた

1 端子を左に回してゆるめます。

2 スピーカーケーブル先端の絶縁部（ビニール）をよじりながら引き抜き、芯線部をむき出しにします。

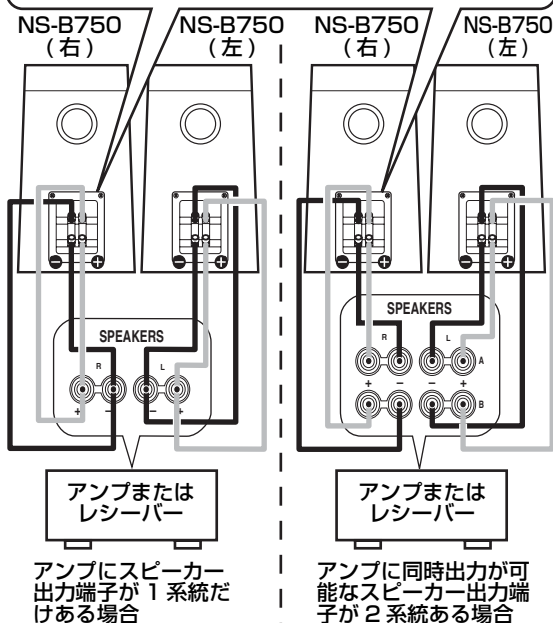
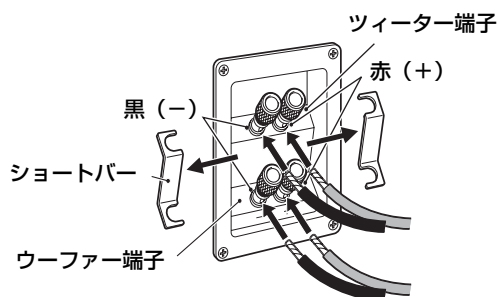
3 スピーカーケーブルをスピーカー端子の穴に差し込みます。

4 端子を右に回して締めつけます。
芯線部が穴からはみ出していないかどうかを確認してください。

バイワイヤリング接続

接続の際、ショートバーを取り外してください。

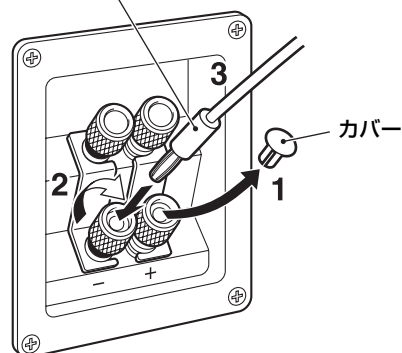
アンプにスピーカー出力端子が 1 系統だけある場合

アンプに同時出力が可能なスピーカー出力端子が 2 系統ある場合

■ バイワイヤリング接続について

本スピーカーシステムは図のようなバイワイヤリング接続でもお使いになれます。バイワイヤリング接続をすると、ウーファー、ツィーターそれぞれがアンプからの信号により直接駆動するため、ウーファーが起こす電気的な妨害をツィーターが受けにくい効果があります。
それにより高域、低域ともクリアな音質をお楽しみいただけます。

アンプについて

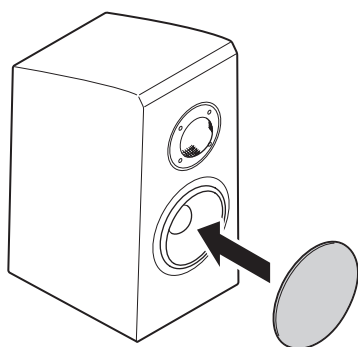
- スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用する場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を入力しないよう、ご注意ください。
- アンプのトーンコントロール（BASS、TREBLE　等）やイコライザーを最大にして過大出力で使用したり、特殊な信号（テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生波）を連続して入力することは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

■ 市販のバナナプラグ使用の場合

1 プラスチックのカバーを手前に引いて取り外します。

2 端子を右に回して強く締めます。

3 バナナプラグをスピーカー端子の穴に差し込みます。

フロントカバーの取り付け

本機とフロントカバーは別々に梱包されています。取り付ける場合は、フロントカバー裏面のマグネットと、スピーカーを固定しているボルトの位置を合わせて取り付けます。

ご注意

- **フロントカバーをはずした状態で、スピーカーユニット、特にツィーターに手を触れたり、工具などで過剰な力を加えないでください。音が歪む原因となります。**
- **スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。故障の原因となります。**
- **本機のフロントカバー裏面には磁石が使われています。取り外したフロントカバーを磁気の影響を受けるもの（テレビ、時計、磁気を利用したカードやフロッピーディスクなど）には近づけないでください。**

仕様

型式..............................2 ウェイ・バスレフ 非防磁型

スピーカーユニット
..................................13 cm コーンウーファー × 1
3 cm ドームツィーター × 1

インピーダンス.. 6 Ω

再生周波数帯域............ 60 Hz ～ 50 kHz (-10 dB)
～ 100 kHz (-30 dB)

許容入力 .... 30 W

最大入力 .... 120 W

出力音圧レベル........................... 87 dB/2.83 V/m

クロスオーバー周波数 ....4 kHz

外形寸法（ 幅×高さ×奥行き）
.... 198 × 350 × 290 mm

質量 .... 6.7 kg

* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
* 上記の最大入力値以上の信号を入力しないよう十分ご注意ください。

スピーカーのお手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、必ず柔らかい布で乾拭きするようにしてください。
キャビネットに水気のあるものやアルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤等をかけたり、化学ぞうきんで拭いたり、ビニール系のシートなどをのせないようにしてください。色がはげたり貼り付いたりします。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

http://www.yamaha.co.jp/audio/

■ AVお客様ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-01-2808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL（053）460-4830

FAX（053）463-1127

受 付 日：月～土曜日（祝日およびセンターの休業日を除く）
受付時間：月～金曜日 9:00～19:00　土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口
受 付 日：月～金曜日（祝日および弊社の休業日を除く）
受付時間：9:00～17:45

北海道	〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 FAX (011)512-6109
首都圏	〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F FAX (03)5762-2125
浜松	〒435-0016 浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内 FAX (053)462-9244
名古屋	〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F FAX (052)652-0043
大阪	〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F FAX (06)6330-5535
九州	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間
お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、 一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する 部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!

愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

Printed in Indonesia WP16330